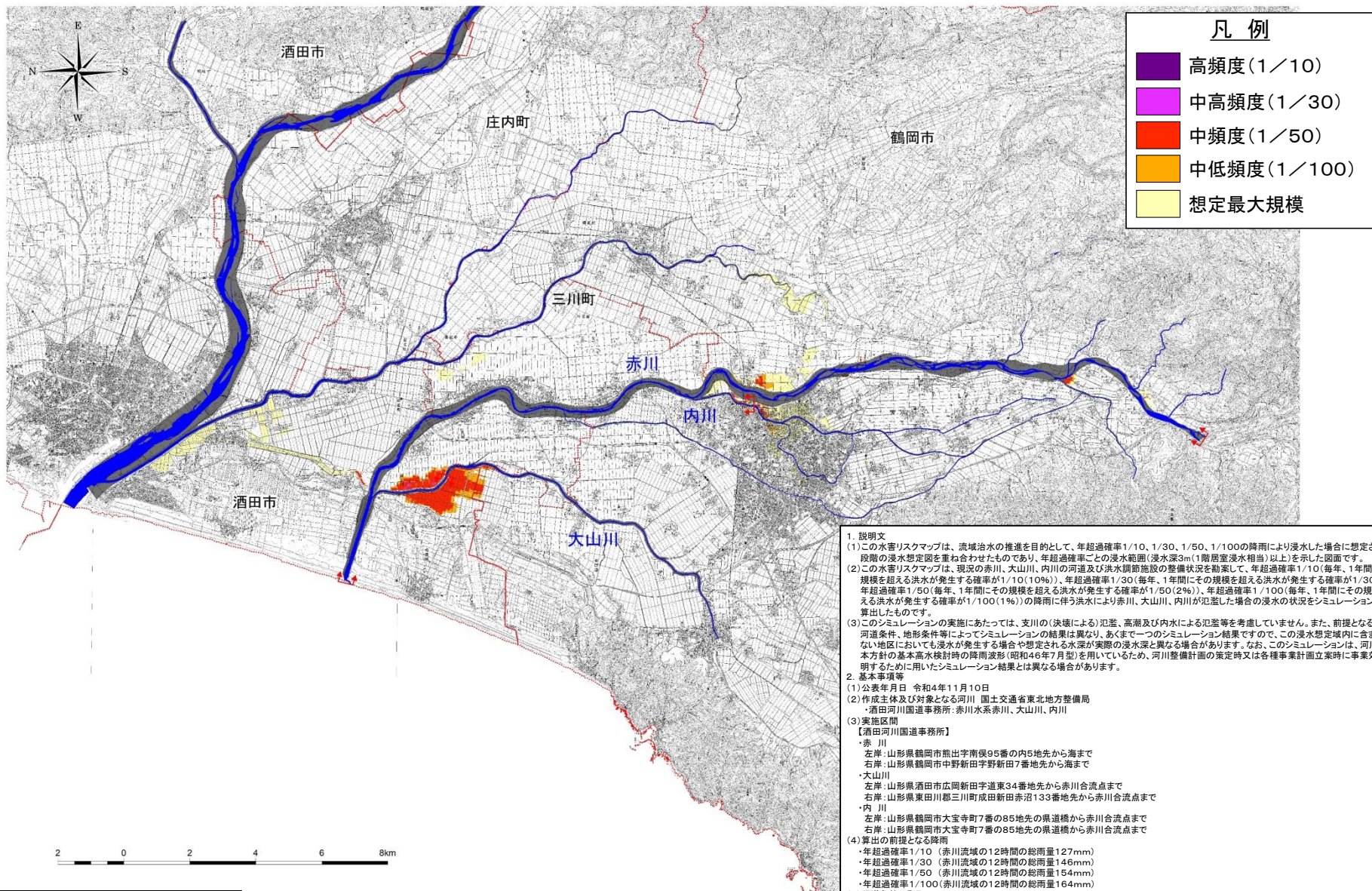


赤川水系赤川 水害リスクマップ

【現況(浸水深3m以上の範囲)】

浸水深3m以上の浸水が想定される範囲



高頻度(1/10)
中高頻度(1/30)
中頻度(1/50)
中低頻度(1/100)
想定最大規模

1. 説明文
 (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。
 (2) この水害リスクマップは、現況の赤川、大山川、内川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水により赤川、大山川、内川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前掲となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和46年7月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和4年11月10日
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省東北地方整備局
 ・酒田河川国道事務所: 赤川水系赤川、大山川、内川
 (3) 実施区間
 【酒田河川国道事務所】
 ・赤川
 左岸: 山形県鶴岡市熊出字南俣95番の内5地先から海まで
 右岸: 山形県鶴岡市中野新田字野新田7番地先から海まで
 ・大山川
 左岸: 山形県酒田市広岡新田字道東34番地先から赤川合流点まで
 右岸: 山形県東田郡三川町成田新田赤沼133番地先から赤川合流点まで
 ・内川
 左岸: 山形県鶴岡市大宮寺町7番の85地先の県道橋から赤川合流点まで
 右岸: 山形県鶴岡市大宮寺町7番の85地先の県道橋から赤川合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨
 ・年超過確率1/10 (赤川流域の12時間の総雨量127mm)
 ・年超過確率1/30 (赤川流域の12時間の総雨量146mm)
 ・年超過確率1/50 (赤川流域の12時間の総雨量154mm)
 ・年超過確率1/100 (赤川流域の12時間の総雨量164mm)
 (5) 河道条件 現況
 (6) 関係市町村 鶴岡市、酒田市、三川町